

令和 5 年度 大阪市立淀川区老人福祉センター 事業実績報告書

施設概要

施 設 名	大阪市立淀川区老人福祉センター
所 在 地	大阪市淀川区野中南 2-1-5
施 設 規 模	鉄筋コンクリート造 4 階建のうち 2 階部分 延床面積 446.39m ²
主 な 施 設	和室、ロビー、多目的室、ミーティングルーム、事務室
市が設定した数値目標	センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足と回答される方」の割合を 85.2%以上とする。(市内 26 館における過去 3 年間の平均) ※感染症拡大を防止する措置のため、延べ利用人数・登録人数は目標としない。
令和 5 年度 満 足 度	80.0% (80/100)

指定管理者

団 体 名	(社福) 大阪市淀川区社会福祉協議会
事 務 所 の 所 在 地	大阪市淀川区三国本町 2-14-3
代 表 者	会長 三田 和夫
指 定 期 間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日
報 告 対 象 期 間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
担 当 者	(淀川区老人福祉センター 岡田茂)
連 絡 先	(06) 6304-9118

1 指定管理業務の実施状況**(1) 施設の運営方針**

淀川区に住むだれもが自分らしくいきいきと過ごせる地域づくりを基本理念として、区民や関係機関と連携し地域福祉を推進することを目的に生きがいづくり、健康づくりと介護予防の促進、社会参加など多様な事業を展開しました。

事業を実施するにあたり、利用者のニーズを把握するため、参加者からの聞き取りを行い行事や講座運営に活かしました。

併設の淀川区民センターと連携し施設運営することで、火災や事故等の防止を徹底するほか、大型イベントは区民センターホールを活用することやランチタイムコンサート等共催イベントは、職員間の情報共有をおこなうことで併設施設のメリットを活かした運営を行いました。

【健康づくり・生きがいづくり・介護予防】

- ・健康づくり、生きがいづくり、介護予防をテーマに、「いきいき百歳体操」等動ける身体づくりに重点を置いた事業を実施しました。
- ・センターのボランティアによる活動を通して、地域の担い手となり地域交流の活性化を図り、生き

がいを持って社会参加いただけるよう取組みました。

【利用者ニーズを反映】

事業実施後には、参加者からのニーズを聞き取り、事業評価を行うことで、次年度の計画へと反映させていくことを基本に事業を実施しました。

(2) 施設の維持管理

淀川区老人福祉センターは昭和 50 年 10 月 17 日設立で施設は老朽化していますが、利用される市民が安心して快適に利用できることを基本に施設の維持管理業務を実施しました。

まず計画的に補修・点検を行うことで、補修費用や事故が起こる危険性を最小限に抑えることを目的に、職員による日々の巡回、点検を行いました。加えて、専門業者による定期点検を実施し、早期の異常発見につなげることで、利用者の安全と市保有財産等の保全に万全を期すよう努めました。

また、職員で協力して館内、トイレ等の掃除を毎日実施することで（淀川区民センターとの共有部分については、専門業者に委託）利用者が快適に過ごせるよう環境整備に努めました。

バルコニー部分の水漏れ改修工事を令和5年11月末から令和6年3月末までの淀川区民センターの空調工事の工期に平行して行いました。入口を淀川区民センター南側から北側に変更するなどしましたが利用者のご協力も得られ問題なく終了しました。

- 電気工作物保守点検…職員が巡視点検を毎月実施し、専門業者が定期点検を月1回実施
- 建築物及び設備…職員が巡視点検を毎月実施し、専門業者が定期点検を年1回実施
- 防火管理消防設備点検…専門業者が年2回点検実施
- エレベーター点検…専門業者が月2回実施
- 自動扉点検…専門業者が3ヶ月に1回実施
- 建築物自主点検・設備総合自主点検…職員が月1回程度実施
- 空調設備保守点検…職員が巡視点検を月1回及び定期点検を年2回実施
専門業者が年1回実施
- フロン機器点検…専門業者が3年に1回実施(令和2年度実施)
- A E D の点検…職員が日常点検を実施するとともにレンタル業者が遠隔作業
で定期的に動作確認実施
- 受水槽高架水槽清掃…専門業者が年1回実施
- 警備保安業務…職員が毎日点検、専門業者による警備
- 施設管理手引きに基づく建築物及び設備総合自主点検の実施（年2回）

(3) 職員の配置状況

施設長 1名、職員 2名、非常勤職員 2名（うち障がい者雇用 1名）

(4) 危機管理・安全管理(事故防止等安全対策、災害等緊急時の対応への準備)

- 淀川区民センターと連携し、災害時に備え、緊急避難経路等の点検・確認を行いました。
- 事故対応マニュアルを事務室に掲示し、職員全員に周知徹底しました。
- 緊急時連絡先や火災通報要領も同様に掲示し、緊急時に迅速に対応できるよう努めました。

2 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延 利 用 数	1,361	1,277	1,283	1,322	1,251	1,666	1,258	1,240	1,233	1,101	1,084	1,159	15,235
登 録 者 数	267	39	36	45	9	16	26	6	6	20	6	2	478

3 実施事業

(1) 事業報告

ア 事業計画 (P)

高齢者の生きがいづくり・社会参加の拠点としての役割を果たすとともに、健康づくりと介護予防の推進を図り、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安全、安心に生活できるように事業の計画を行いました。

加えて、「世代間交流」「ボッチャ」「ランチタイムコンサート」等のイベントを淀川区子ども会連合協議会、淀川区老人クラブ連合会、地域包括支援センター、淀川区民センター等の関係団体との連携により開催し、地域福祉の推進を図ることを目的に計画をしました。

また、淀川区老人福祉センターと淀川区民センターとの共催で実施した「Wフェスタ」は、サークル活動で作った「作品」の展示や、歌や踊りなどの披露など日頃の成果を発表することにより、生きがいと継続的なサークルへの参加を促すことができ、加えて区民センターと共同開催することによる他団体との交流を目的に計画をしました。

〈事業計画の3つの視点〉

◇高齢者の生きがいづくり

高齢者の生きがいづくりとして、講座開催、サークル活動の場の提供や、囲碁・将棋、バッハーをはじめ、いつでも気軽に利用ができるようつどいの場（居場所）を提供しました。

また、健康づくりや教養の向上等に関する講座を開催するとともに、自身がリーダーとして参画す

るきっかけづくりとなるような養成講座を開催するなど、様々な行事等を企画しました。

- 1 教養講座、生きがいづくり支援講座、サークル活動等の効果的な開催
- 2 高齢者の居場所づくりの充実
- 3 センターボランティア等活動支援
- 4 世代間交流の推進

◇健康づくり介護予防の推進

介護予防の推進を図ることで、高齢者がいつまでも住み慣れた地域でいきいきと生活できることを目的に次のイベント等を実施しました。

- 1 いきいき百歳体操
- 2 健康麻雀
- 3 コロナに負けない身体づくり
- 4 歯科講習会(歯科医師会と共に)
- 5 ぽかぽか体操
- 6 健康太極拳
- 7 ボウリング大会
- 8 座って楽しむ脳トレ体操
- 9 認知症ってどんな病気

◇生活に役立つ情報提供

警察署や消防署等と協働し、高齢者の生活に役立つ情報を高齢者に解りやすく伝えられるように企画をしました。

イ 活動内容 (D) (今年度の取組内容)

◇高齢者の生きがいづくり

- (ア) 教養講座、生きがいづくり支援講座、サークル活動等の効果的な開催

事 業 名	回数	人 数	開 催 日 (内 容)
Wセンターフェスティバル	3日間	328	9/7~9/9 展示とステージ発表
大人が楽しむ絵本の世界	1	16	5/27 スクリーンに絵本を映す
シニアのためのパソコン教室	4	32	12/11, 12/16, 12/18, 12/20

事 業 名	回数	人 数	備 考
3B体操①②	46	449	第2・4月曜日 午前9:00~10:45、10:55~午後0:10
ボウリング	50	560	毎週火曜日 午前11:00~午後1:30
パッチワーク	24	131	第1・3火曜日 午前10:00~正午
うたごえ	24	227	第1・3火曜日 午後1:30~午後3:00

民踊	27	538	第2・4火曜日 午前10:00～正午
詩吟	24	169	第2・4火曜日 午後1:00～午後4:50
健音歌体操①	23	313	第1・3水曜日 午前10:00～午前11:30
健音歌体操②	24	186	第2・4水曜日 午前10:00～午前11:30
笑いヨガ	23	149	第2・4水曜日 午後1:30～午後2:45
デジカメ	6	34	偶数月の第1水曜日 午後1:30～午後3:00
民謡	23	184	第1・3木曜日 午前10:00～正午
囲碁	23	219	第2・4木曜日 午前10:00～正午
絵手紙	12	76	第2木曜日 午後2:00～午後4:00
パソコン勉強会	23	257	第1・4金曜日 午前10:00～正午
パソコン初級	23	91	第1・4金曜日 午後0:30～午後2:00
パソコン中級	23	51	第1・4金曜日 午後2:20～午後4:00
フラダンス	24	313	第2・4金曜日 午前10:30～正午
大人の塗り絵	21	234	第2・4金曜日 午後1:30～午後3:30
俳句	12	121	第1土曜日 午後1:00～午後3:00

(イ) 高齢者の居場所づくりの充実

和室とロビーで囲碁・将棋及びバンパーを常設し、つどいの場（居場所）として毎日開放

日頃の練習の成果を発揮する場として、次の行事を実施しました。

事業名	回数	人数	開催日
館長杯 囲碁大会	2回	30	9/20, 3/5
館長杯 将棋大会	2回	28	9/25, 3/18
館長杯 バンパー大会	2回	29	9/27, 3/14

(ウ) センターボランティア等活動支援

利用者としてだけではなく、時にはボランティアとして活動し、高齢者が自主的に地域福祉活動に参画できるよう取り組みました。

定期的にボランティア同士の交流を図ることを目的に、ボランティアミーティングを開催し、継続的な活動と、新たなボランティア活動について話し合いました。

活動名称	内容
ボランティアミーティング	行事への取組、情報交換を目的に開催
センターだより	折り込み作業や地域集会所などへの配布
Wフェスタ	パネルの設置やイスの準備・後片付け
こども文化のまつり	だるま落としなど昔あそびや的当てゲームのブース活動
その他	大掃除など

(様式 1)

(エ) 世代間交流の推進

淀川区子ども会連合協議会、淀川区老人クラブ連合会など関係機関と協議を重ね、淀川区老人福祉センターは、高齢者と子どもが交流を深めることができる昔あそびの体験との当てゲームを行いました。

本事業においても、設営からコーナー運営までセンターボランティアが担いました。

事業名	回数	人数	開催日
こども文化のまつり	1	約 500	11/3

◇健康づくり介護予防の推進

事業名	回数	人数	開催日
百歳体操（4 クラス）	191	2, 255	毎週火曜日・木曜日
介護予防運動鍼灸ケア教室①	11	191	前期： 5月～7月 全11回
介護予防運動鍼灸ケア教室②	11	163	後期：10月～12月 全11回
転倒予防教室	1	13	7/21
健康麻雀	12	177	4/24, 7/21, 10/30, 1/29 (各 3回)
歯科講習会（歯科医師会共催）	1	6	8/31
座って楽しむ脳トレ体操	8	88	8/21, 11/13, 3/29
すこやかマッサージ&ダンス	4	117	6/30, 8/30, 10/16, 2/19
健康太極拳	2	36	6/7, 11/29
百歳体操・特別講座	3	109	4/25, 12/26, 2/20
昭和歌謡ダンス	8	111	6/19, 9/14, 12/4, 3/18
コロナに負けない身体づくり	1	16	10/26
ポカポカ体操	3	45	7/6, 1/19
美容ラテンリズミック	3	59	4/17, 7/3, 10/2
ボウリング大会	1	17	12/19
オレンジ教室	4	71	5/29, 9/29, 12/18, 3/15
e スポーツ体験講座	1	14	3/21

◇生活に役立つ情報提供

事業名	回数	人数	開催日
生活お役立ち講座 火事を知り火災から身を守る	1	10	5/25
生活お役立ち講座 自転車の交通安全教室	1	20	11/24
生活お役立ち講座 健康セミナー	1	20	2/29
生活お役立ち講座 家族信託・遺言	1	17	3/25

ウ チェック (C) (成果、課題)

◇生きがいづくり活動の拠点機能の充実

(ア) 教養講座、生きがいづくり支援講座等の効果的な開催、サークル活動支援

アンケート調査や日頃から利用者と対話し、利用者ニーズに即した講座を実施しました。特に体を動かす講座は人気があり、利用者の継続的な利用につながりました。

またサークル活動については、空調工事の影響で活動場所に制限がかかり、サークル活動の継続に支障が生じましたが、サークル世話役会を実施し、各サークルの課題に協力支援し、よりよく活動が継続できる体制を構築しました。

加えて、今年度初企画の「W センターフェスタ」では、区民センターと共同開催し、サークル会員の方々の日頃の練習の成果を披露することはもちろん、大阪府警の音楽隊や区内中学校の吹奏楽部による演奏等のプログラムもあり、大規模な催しとなりました。

(イ) 「出張老人福祉センター」の実施

淀川区老人福祉センターで行っている講座を遠方の地域に出張し、遠方であっても平等に利用できること、淀川区老人福祉センターではこんな楽しい講座があるということを認識していただくことを目的に西中島地域で「出張老人福祉センター」を実施しました。

課題は他地域での展開であり、出張老人福祉センターの実施場所を増加し、遠方の区民の方々へ参加していただけるよう新規開拓します。

(ウ) 高齢者の居場所づくりの充実

いつも賑わっていて、出会い、ふれあうことができる居場所、特に男性の居場所づくりの役割を果たしています。毎日来館される利用者も多く、生きがいを感じ、頭を使って考えることで認知症の予防にもつながっています。また、囲碁・将棋・バッパー大会は、利用者が企画、運営、実施までをできるように支援をしました。

年齢を重ねても興味のあることに熱心に取り組むことで、生き生きとした日々を送ることができます。

また、囲碁・将棋終了後はボランティアによる碁石、将棋の駒等の消毒も実施しました。

(エ) センターボランティア等活動支援

Wセンターフェスタの会場設営・撤収などの各行事の運営の支援、健康麻雀のアシスタント、毎月の「センターだより」の折込みや地域への配架等を行っていただきました。長年ボランティア活動をされている方が自然とリーダー的存在になり、スムーズなボランティア活動が実現しています。

今後はニュースポーツの指導を行えるリーダーを養成し、区民の健康づくり及び体力づくりの推進を行っていくような計画をしていきます。

新規ボランティアが少ないことが課題であるため、募集方法の工夫等改善を図ります。

(オ) 世代間交流の推進

淀川区子ども会連合協議会、淀川区老人クラブ連合会など関係機関と連携し、高齢者が地域の小学生に昔あそびを指導しながら交流する「こども文化のまつり」に参画しました。

昔あそびとして、だるま落としとのて当てゲームを行い、子どもと高齢者が、笑顔の絶えない時間を送れました。参加した子ども達と交流することで、世代を超えた交流が図れました。

◇健康づくり介護予防の推進

(ア) いきいき百歳体操

高齢者の健康維持・増進、介護予防を目的に毎週火曜日・木曜日に実施し、外出の機会を増やして、運動機能の維持向上を図ることができました。健康づくり、介護予防の効果は継続が重要であることから、大阪市が推進している「いきいき百歳体操」は希望者全員が参加できるように会場をロビーと多目的室に変更しました。

また、百歳体操を安全で効果的に実施できるように定期的に専門家に指導をお願いして高齢者のフレイル(虚弱)予防に努めました。さらに、区民への広報活動に力を入れて、高齢者の健康寿命を延ばせるような取り組みを図ります。

(イ) 健康麻雀

参加者から「楽しみながら脳トレができることで、認知症予防に繋がっている」「ゲームを通して、仲間意識ができて仲良くなった」等の意見がたくさんありました。

また、淀川区社会福祉協議会で実施した「健康麻雀ボランティア養成講座」の修了者が、健康麻雀教室の講師アシスタントとして活動する場を提供することができました。

(ウ) コロナに負けない身体づくり・歯科講習会

コロナ禍に対応した講義内容になるように講師と調整をして実施をしました。コロナに感染しても重症化しにくい身体になる体質改善を目的に実施した事業や、コロナウイルスと歯周病との関連についての歯科講習会を開催しました。

(エ) 健康体力づくり講座

(ぽかぽか体操・健康太極拳・ボウリング大会・座って楽しむ脳トレ体操)

利用者より健康体力づくりのための体操等の運動を実施して欲しいとの要望が多いことを踏まえ、ぽかぽか体操等を開催しました。終了後の参加者からの声として「健康づくりや介護予防につながった」「習慣づけて運動を行うことの大切さがわかった」とのご意見をいただきました。

椅子に座り、ゆったり手足を動かし、身体と脳を同時に使うことで楽しく介護予防ができるので継続して欲しいとの要望が多いため、令和6年度も開催します。

(オ) 認知症ってどんな病気

認知症予防に効果的な事業を実施して欲しいとの要望を踏まえ、認知症初期集中支援推進チーム（淀川区オレンジチーム）と共に認知症の予防・早期発見・早期診断・早期支援体制の構築を目的に実施をしました。参加者からは「時間を忘れるくらい集中して講義を聞いてためになつた」等の意見をいただきました。

◇相談、情報提供の充実

生活お役立ち講座として「火事を知り火災から身を守る」、「健康セミナー」、「自転車の交通安全教室」、「家族信託・遺言」を開催しました。高齢者に关心の高い内容で、講師の説明もわかりやすく講義終了後に多くの質問ができるほど好評でした。

さらに関係機関と連携し、高齢者にタイムリーな情報を発信し、高齢者が安心して地域で生活できるような取り組みを実施します。

エ 改善策（A）（次年度に向けた改善内容）

◇生きがいづくり活動の拠点機能の充実

（ア）教養講座、生きがいづくり支援講座等の効果的な開催

より多くの方々に淀川区老人福祉センターを認識していただき、遠方の地域の方々にも利用していただけるように、次年度も淀川区社会福祉協議会事務局と連携し、淀川区老人福祉センターから地域に出向き「出張老人福祉センター」等を実施します。

具体的な取組みとしては、区内の施設等へ出向いて、人気の高い「健康体操」や「サークル体験会」等を実施します。

また、令和5年度は、西中島地区で2回実施しましたが、次年度は実施地域を拡大していきます。

（イ）高齢者の居場所づくりの充実

恒例の館長杯囲碁・将棋・バンパード大会は利用者からの開催の要望が高いため、1年にそれぞれ2回開催しているが、それ以外のイベント等は定着していないので、利用者へeスポーツを広め新たな体を動かす居場所づくりを提案します。

（ウ）センターボランティア等活動支援

新規のボランティアを募集するとともに、生きがいをもって活動ができるように支援します。

また、オレンジチームと連携して、認知症になっても住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう「認知症サポート養成講座」を開催し、地域で活動ができるようにボランティア市民活動センター及びセンターボランティアの加入促進を図ります。

（エ）世代間交流の推進

令和5年度は、子どもとの世代間交流を目的に実施した「こども文化のまつり」を通して淀川区子ども連合協議会、淀川区老人クラブ連合会と交流の場を設定しましたが、令和6年度も継続して実施するとともに、世代間交流の場の拡大に努めます。

◇健康づくり介護予防の推進

（ア）いきいき百歳体操

随時、新規の募集を行うとともに、火曜日の3クラスだけでなく、火曜日に来館できない利用

者のために、木曜日に 1 クラス実施していきます。

(イ) 健康麻雀

参加者からの実施回数を増やして欲しいとの要望を受けて、令和 5 年度は前年度と同様に 4 日間の実施ではあったが、従来の 3 卓(テーブル)から 1 卓(テーブル)を増設しました。これにより、12 回から 4 回増え 16 回開催することができました。

次年度は、申し込み状況によって、さらに 1 卓(テーブル)増やすことを検討します。

(ウ) 歯科講習会

令和 5 年度は、歯科医師会と連携して共催で実施しました。大変好評であったので次年度も同様に開催します。

(エ) 健康体力づくり講座 (ぽかぽか体操・健康太極拳・ボウリング大会・脳トレ体操)

次年度は上記事業に加え「リズム体操」「昭和歌謡ダンス」「リトミック」等さまざまな健康づくり体操を実施し、楽しみながら参加できる内容を提供していきます。

(オ) 認知症ってどんな病気

継続して欲しいとの要望に応えて、オレンジチームの合同事業(認知症・寝たきりにならないよう人生最後まで健康で笑って過ごせるための講座)オレンジ教室を令和 6 年度も 4 回開催します。

◇相談、情報提供の充実

令和 6 年度も利用者の関心の高い内容を「生活お役立ち講座」として取りあげて実施するとともに、淀川警察署等の関係機関と連携し交通安全、防災、防犯等の啓発活動を継続して実施します。

また利用者から気軽に相談ができる体制づくりに注力し、利用者との信頼関係の構築に努めます。淀川区社会福祉協議会、地域包括支援センター等高齢者に関する機関とも協力し、相談内容に応じて適切に対応できるよう努めます。

(2) 平等利用の確保

- 各地域の福祉施設、老人憩いの家、郵便局等へセンターだよりを配架し、淀川区老人福祉センターの情報を区内全域に周知しました。
- 淀川区老人福祉センターで行っている講座を遠方の地域に出張し、遠方であっても平等に利用できることを目的に「出張老人センター」を実施しました。
- 人気のある行事や講座は、希望者が出来るだけ参加できるように実施回数を増やしました。

(3) 利用者サービスの向上策

- ・アンケート調査により、利用者のニーズを収集し、講座内容に反映しました。
- ・できる限り利用者と対話をし、アンケートでは聞き取れない意見や希望等を引き出す努力を行うことで、運営内容の改善等を行いました。

(4) センターの利用促進策

- ・「センターだより」「よどマガ!」「淀川区社協だより」等により周知、情報提供を行いました。
- 居住地が、淀川区老人福祉センターから離れているために、行事等の情報を入手しにくいとの要望を受け、身近なスーパーや病院、薬局、郵便局等に「センターだより」を設置しました。
- ・「出張老人センター」を行い、離れた地域で淀川区老人福祉センターの魅力を伝えました。

(5) 利用者からの苦情・意見・満足度の把握

- ・アンケート調査の結果を受け、ご意見は真摯に受け取り、職員間で共有し改善に向けて努力しました。すぐに解決できるものについては早急に対応し、予算的に厳しいものや老人福祉センターだけでは解決できない課題等については、淀川区社会福祉協議会、区役所、高齢福祉課に相談したうえで、解決、解消に向けて取り組みました。
- ・意見箱を設置し、匿名での苦情や意見等に対応できるようにしました。

4 地域との連携・人材育成

(1) 地域の関係団体・施設との連携

- ・淀川区民センターと共同で、避難訓練を実施しました。
- ・淀川区老人クラブ連合会と淀川区子供会連合協議会と共に、「こども文化のまつり」を実施しました。
- ・淀川区オレンジチームと連携し、オレンジ教室を開催しました。

(2) 人材育成・ボランティア活動支援等

- ・淀川区社会福祉協議会のスマホボランティアグループ「ひまわり」に対し、スマホ相談会の場を提供して活動の支援をしました。
- ・ボランティア市民活動センターと協力し、健康麻雀ボランティア養成講座修了者に活動場所の提供を行いました。

5 その他

(1) 職員研修の実施状況

日時	テーマ	参加人数
12/20, 12/22	大阪市社会福祉施設職員人権研修 「ハラスメントへの対応について」	2名
2/9, 2/27, 2/28, 3/13	コンプライアンス研修	4名

(2) 個人情報の保護・情報公開について

- ・大阪市淀川区社会福祉協議会の文書規程に基づき、文書ごとにファイルを作成し保存管理をしています。また、利用交付申請書等の個人情報は保管庫に施錠して収納をしています。鍵は、キーボックスで保管しています。
- ・パソコンについては、操作の際には ID パスワードでログインをしています。
ログインの ID パスワードについては定期的に更新しています。

(3) 職員の労働条件の確保・環境への配慮

- ・定期健康診断やストレスチェックを実施しました。
- ・産業医による定期健康診断結果の確認や、月に1回健康相談の時間を確保しました。
- ・タイムカードにより職員の労働時間を明確にし、年休取得状況の管理やサービス残業が無いように勤務状況の確認を行いました。
- ・エアコン、照明器具等による節電、コピーの両面印刷や裏紙使用など環境への配慮に努めました。

6 収支決算状況

(単位：円)

収入(項目)	内訳	計画	決算
業務代行料	大阪市からの業務代行料	16,148,000	16,148,000
	参加費収入	100,000	0
収入合計(A)	—	16,248,000	16,148,000
支出(項目)	内訳	計画	決算
人件費	館長 1嘱託 2繁忙期 1	12,550,000	11,952,034
	消耗品、備品等	3,698,000	2,735,484
支出合計(B)	—	16,248,000	14,687,518
収支(A) - (B)		0	1,460,482

【計画と決算の差額の主な理由】

- ・物件費については、輪転機や掃除機などの使用を調整して機材等の購入を先延ばしにしました。
- ・予定していた和室の畳(32帖)の交換、ロビーのカーペットの張替えなどは材料の不足及び高騰により業者との調整に遅れが生じたため実施ができませんでした。

【経費節減のために主に取り組んだこと】

- ・老人福祉センター主催の行事は、生涯学習インストラクターバンクを利用することや講師料が無料の行事も実施し経費の縮減に努めました。
- ・「センターだより」の各関係機関への設置は、地域との連携が図れるよう郵送ではなくて館長や職員、センターボランティアが配付することで経費節減につながりました。
- ・水道光熱費は、職員全員が経費削減について意識を持って取り組みました。